



平成27年9月15日

各位

会社名 ゼビオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 諸橋友良
(コード番号8281 東証第一部)
問合せ先 常務執行役員 中村和彦
電話番号 03-6870-6008

持株会社体制移行後のグループ組織体制並びに

グループ経営体制（コーポレートガバナンス）の変更について

当社は、本年10月1日から持株会社体制に移行する準備を進めてまいりましたが、本日開催の取締役会にて、持株会社体制移行後のグループ組織体制並びにグループ経営体制（コーポレートガバナンス）の変更について、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 持株会社体制移行後のグループ組織体制

持株会社体制移行に伴い、平成26年7月3日にお知らせいたしました、グループ内の子会社群の分類に用いた機能と、その中心となる会社と位置付けた中核子会社を、以下の通り変更いたしました。なお中核子会社は、資本関係に捉われることなく、機能別にグルーピングしたチームのHQとして、グループのシナジー効果を発揮しながら、事業運営責任を果たす位置付けとし、チーム内のその他子会社に関する管理責任と権限を有します。

この組織体制下、これまで以上にグループ経営全体の迅速性と透明性を高め、一層の企業価値向上と収益拡大を目指します。

《中核子会社と機能の概要》

持株会社	グループ中核子会社	機能
ゼビオホールディングス株式会社	ゼビオ株式会社	全国展開の大型総合スポーツリテール
	株式会社ヴィクトリア	首都圏及び特定商圏に特化した総合スポーツリテール
	株式会社ゴルフパートナー	中古ゴルフ事業 ゴルフ練習場事業
	クロススポーツマーケティング株式会社	マーケティングエージェント
	クロステックスポーツ株式会社 (※1)	海外窓口業務及びR&D業務
	ゼビオコーポレート株式会社(※2)	グループコーポレート業務受託事業

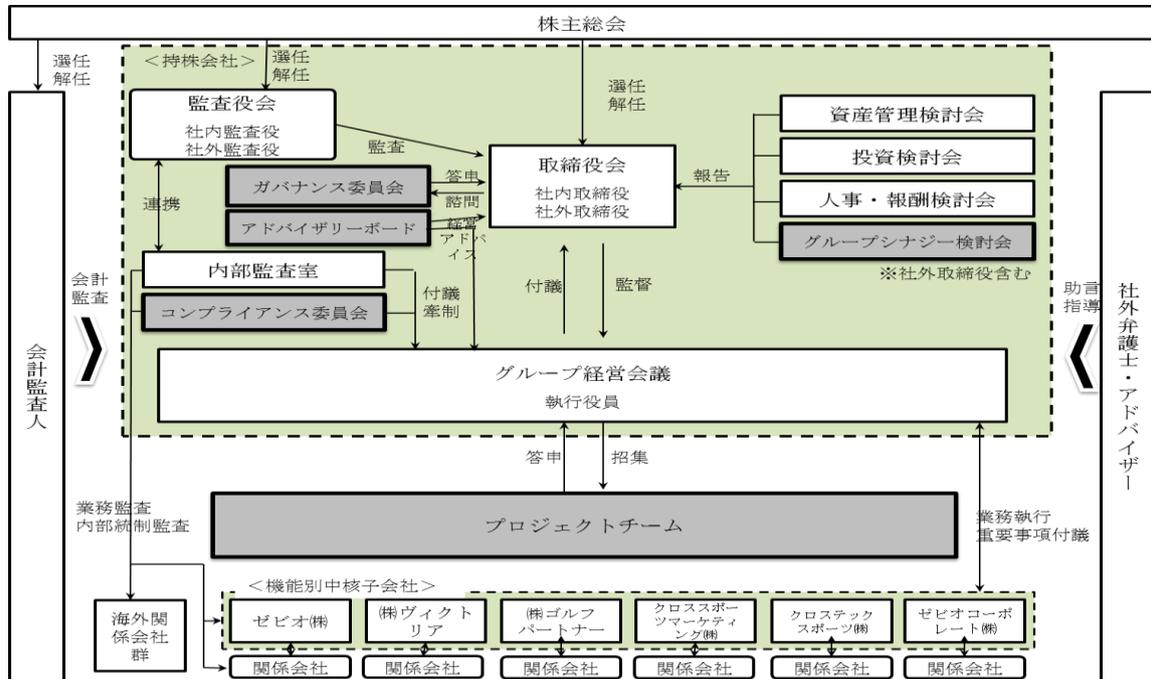
(※1)現商号はカイザー株式会社、平成27年10月1日に商号変更予定

(※2)現商号はゼビオビジネスサービス株式会社、平成27年10月1日に商号変更予定

2. 持株会社体制移行後のグループ経営体制（コーポレートガバナンス）

持株会社体制移行に合わせ、更なるガバナンス推進に向けた取り組みとして、コーポレートガバナンス体制を以下のように強化いたします。

《コーポレートガバナンス体制図》



《新たに付加するガバナンス機関》

①アドバイザーボード

当社グループの中期ビジョン達成に向けての経営課題、コーポレートガバナンス、当社グループが解決していきたい社会的課題への取り組みやその方向性について、幅広い見識を持つ社外の有識者から意見をを得ることを目的として設置します。

②コンプライアンス委員会

各会社に設置しているコンプライアンス推進機関を総括的に管理し、各社状況の確認と指導、並びに各会社で発生する事例を共有することで、グループ全体として更なるコンプライアンスの推進を担うことを目的として設置します。

③ガバナンス委員会

グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上に重要な事項について、実効性のある議論を行う場として、代表取締役と独立社外取締役及び独立社外監査役で構成される諮問機関を設置します。

④グループシナジー検討会

グループ各社が、経営の独立性を保ちながらも、連携・連動を通じてグループシナジーを発揮、グループ最適のスポーツコングロマリット構想の実現が進んでいるかを検証し、その結果を取締役に報告することを目的として設置します。

⑤プロジェクトチーム

個別の経営課題について、グループ経営会議メンバーの要請によりテーマ毎に最適な人員をグループ各社から招集、グループ横断的な視点で解決の為の施策等を、グループ経営会議に答申することを目的として設置します。

以上